

新宮山彦ぐるーぷ第2129回

## 持経宿、平治宿の巡回整備

◇実施日… 2021年5月9日(日) 晴

◇参加者… 沖崎吉信、児島道夫、梶野照雄

3名

連休中、持経宿に小屋番に入った村吉さんや前田さんからLED照明の不調と、発電機の燃料漏れが報告された。対処すべく持経宿に向かった。



白谷林道ゲート

ソーラー発電の修理

燃料コックを外す

午前8時半過ぎに白谷林道のゲートに到着。R425には一台のワンボックスカーが停車していて、自転車を降ろしていた。話しか

けてみると、自転車で持経宿まで行くそうだ。後でわかったことだが、この人たちは新宮の神倉の人で、児嶋さんを知っているのとこのだった。

8時50分、沖崎車が到着して2台で持経宿に向かう。先日2台の重機で整備していた林道は、落石も殆ど無く、水流で深い溝が出来ていた場所も均されていた。

50分ほどで持経宿に到着、児嶋さんはソーラー発電の修理を始めた。発電機の状態を確認すると、燃料コックがタンクから外れて、それぞれがガムテープで止められていた。テープを外してみると、タンクにネジ込まれている部分が折れていた。児嶋さんを選んで対処をお願いする。



中又尾根分岐洋

式便座を取り付け

平治宿を出発

ソーラー発電と発電機の修理に時間を要するので、沖崎、梶野の2名で平治宿に向かう。

中又尾根分岐で休憩。晴れてはいるが、西風が強く、上着が無いと

寒さを感じる。

平治宿に着いて、以前から用意していた洋式便座一基をトイレに取り付ける。使わなくなったポータブルトイレを少し改造して持ってきた。

取り付けは10分足らずで終了、沖崎さんに座り心地を確認していただいた。排泄物を流す塩ビパイプに落ち葉が溜まって流れなくなっていた。枯枝で突き、水を数回流して掃除した。

沖崎さんは小屋の内外を清掃、カメラのメモリーを交換して持経宿に戻った。ここ数日の降雨で、水場には十分な水流があると思われるので、水場の確認は行わなかった。



千年桧へ向かう

標識新設

巣箱の取り付け

持経宿に戻って昼食。食後、ハシゴを持って千年桧へ向かう。千年桧のお堂脇に杭を2本打ち込み、「刈峰行」の標識を立てた。お堂東側の木に梯子を立てて、児嶋さん製作の巣箱を取り付ける。コノハズク用で、若干大きく作ってある。20年ほど前には、よく

鳴き声が聞こえていたが、最近は聞くことがなくなった。再びコノハズクの鳴き声が聞こえるように願っての設置である。風が強いので、ハシゴの上の作業に慎重さが求められ、少し時間がかかった。巣箱を取り付け終えて、持経宿に戻る。途中のテント場にもう一つの巣箱を取り付けることになり、ハシゴを置いて、持経宿から巣箱を持ってくる。ここでも風が強く、取り付けには時間がかかった。巣箱の取り付けが終わり、本日の作業は完了。後片付け、戸締りを確認して下山した。



テント場で

本日の参加者

林道三差路

発電機の燃料漏れは、児嶋さんが燃料コックを持ち帰って、ネジを切り直して後日修理の予定。古い発電機に燃料を入れて運転してみたが、一発で始動して問題なく動作している。ただし、電子レンジを使うと、負荷が重いためかエンジンがストップしてしまう。

(記；梶野)

## 行動タイム

白谷林道ゲート 08:50→09:45 持経宿 10:17→10:53 中又尾根  
分岐↓ 11:13 平治宿 11:40→11:57 中又尾根分岐↓ 12:30 持経宿  
12:58→13:07 千年桧 13:30→13:55 テント場↓ 14:33→14:48  
持経宿 15:05→15:48 白谷林道ゲート